

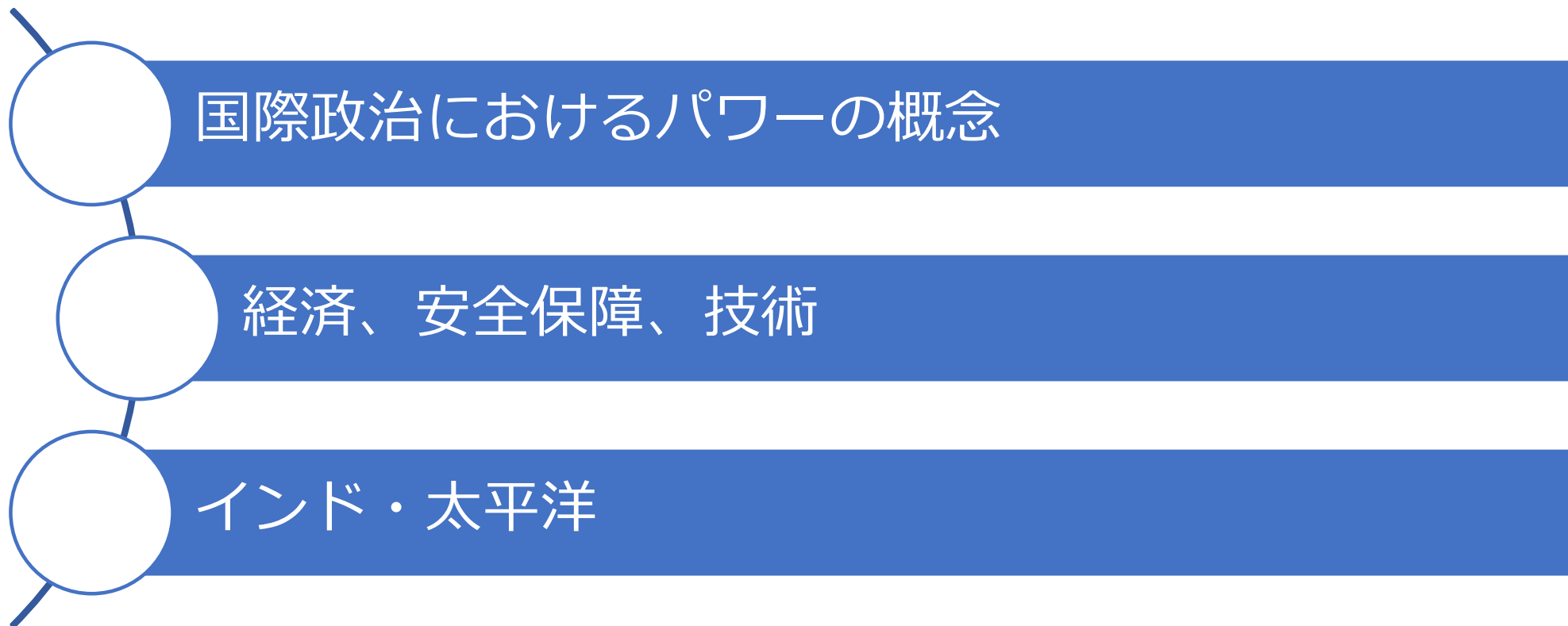
デジタルシルクロード：情報通信の地政学

持永 大

デジタルシルクロードとは何か

- 中国の海外戦略一帯一路の情報通信分野における構想
- 情報通信技術を利用したプロジェクトを中国政府がトップセールスし、資金や技術提供などを通じて推進している。
- 例：情報通信インフラ、スマートシティ、プラットフォーム

デジタルシルクロードの目的と影響力をどう理解するか



デジタルシルクロードの問題点

デジタルインフラのロックイン

- インフラ輸出を推し進め、経済・技術的依存関係を深める
- 別のインフラ・プラットフォームへ乗り換えることを困難にする

技術の社会実装に関する価値の促進

- 情報通信技術による社会の管理をデファクトスタンダードにする
- 国際システムにおけるルールや価値に対する影響力を強化する

デジタルシルクロードを通じた影響力強化

分析の観点

- 経済・安全保障のバランスを変える米中間の技術覇権争い
- 経済：デジタルエコノミーの潜在力
- 安全保障：汎用技術の拡大、サイバー攻撃、軍民融合
- 地政学：デジタルシルクロードによるインフラの確保、周辺地域の緩衝地帯化
- 価値外交：権威主義的価値を支える技術・制度の拡散

インド・太平洋地域における経済・安全保障のバランス

■ 経済のバランス

- 米国、中国、中国以外の3者間の経済的なバランス

■ 安全保障

- 米国を中心とした同盟関係
- 中国に対する脅威認識

■ 情報通信技術が経済・安全保障のバランスを崩す

- 中国周辺の途上国の優先事項：
 - ①自国の安全保障、②経済的発展、③政治的な安定
- 情報通信技術はすべての優先事項に関係する

一帯一路を通じた投資の回収

■ 双循環

- 資金、技術、影響力などから構成される国内と海外の循環を連動させることで経済の活性化を目指す発展モデル

■ 中国共産党と政府は発展モデルを推進

- 国内外の双循環が互いに促進する新発展モデルを構築する
(2020年5月、中国共産党政治局常務会議)
- 国内大循環を主体として、国内外の双循環が互いに促進する経済の新発展モデルを目指す (2020年7月、習近平国家主席)
- 海外での発展を国内に回帰させる方針 (2020年10月、14次5カ年計画と2035年に向けた遠景)

中国による技術の展開事例、技術獲得手法

■ 具体的な事例

- 中国企業の海外展開支援（鉄道、道路、通信回線）
- 一帯一路によるインフラ建設と情報通信技術の組み合わせは、被支援国の中国経済・技術への依存度を高めている。

■ 手法

- 中国は技術標準策定議論を主導することで他国から技術を獲得し、自国の利益を追求している。
- 米国による制裁の効果を低減するため、中国は金融分野に注力している。

デジタル分野でのルール作り主導：技術標準の獲得

- 中国政府・企業は、デジュール・デファクトスタンダードによるアプローチを変えることで、技術標準の獲得を目指す

デジュールスタンダード

- 標準化活動のノウハウ・人脈、技術動向の収集
- 企業が強みを発揮できる分野での規格提案を主導し、比較技術として他国の技術情報を獲得
- 国内標準を国際標準とすることで、海外進出に有利な環境を作る

デファクトスタンダード

- フィンテック等の国際的な規制が少ない分野で主導的な立場をとる
- 東南アジア地域では、中国企業が地元企業を買収・資本提携することでオンライン決済市場のシェアを獲得
- 一帯一路を通じた物理インフラとの組み合わせで有利な立場を作る

中国の課題

- 西欧諸国の技術への高い依存
 - 半導体、ソフトウェア、データベースなど
- 中国製品を避ける国々の登場
 - ベトナム、シンガポールでは5G整備に中国製品を使わないことを決めた通信事業者がいる
- 不完全な双循環
 - 経済的利益の獲得は進んでいるが、中国のデータガバナンスに関する提案は、あまり支持されていない

日本の対応：関係的・構造的パワーの維持と伸張

- ソフトウェア、ハードウェア、人間社会を包含する総合力強化
 - サイバーセキュリティは総合力の高さが勝負の分かれ目
 - 外国への依存性の低減

- 予算配分の変更
 - グローバルに拡大可能な産業への注力
 - 基礎研究・標準化活動への投資、集中と選択の見直し

- 人材育成
 - 予算配分の在り方を変更し若手を育成
 - リカレント教育等の人材の再教育を通じた基礎力の養成

まとめ

- デジタルシルクロードは、一帯一路の情報通信分野における構想である。
- 一帯一路関係国の情報通信インフラは、ロックインされ、中国の影響力が高まる。
- 中国は、経済的な利益を獲得し、権威主義的価値を支える技術・制度の拡散を通じて、技術の社会実装に関する正当性を主張しようとしている。
- 日本の対応は原則の確立、総合力の強化、予算配分の見直し、人材育成にかかっている

THE DIGITAL SILK ROAD

The New Geopolitics of Telecommunication



デジタルシルクロード

情報通信の地政学

持永大

「一帯一路」の 知られざる戦略

地政学、安全保障、国際政治における
パワーの行使という独自の観点から、
一帯一路のデジタル分野での取り組みを読み解き、
中国の技術・経済・外交的な影響力拡大の状況と対抗策を示す。
日本経済新聞出版

中国一帯一路は
陸路と海路だけではない。
本筋はデジタルの道だ。
土屋大洋 慶應義塾大学教授推薦